

## 2050年までをシミュレーションし、創造する。

昨年度までのテーマ「次世代の横浜・神奈川地域像を素描する」においては、2030年代半ばから2050年までを想定して、「バックキャスティング」手法により、目指すべき将来ビジョンを明確にしつつ、現在起こすべきアクションを考えることを行なった。

今年度からのテーマは、昨年度までのテーマを踏まえて上書きし、「2050年までをシミュレーションし、創造する。」をテーマとする。2050年を「鮮やかに創造」できるようになるよう、「客観的な分析を通じたシミュレーション力」と「学際的な視点や知識を融合した創造力」を養うことを目標として、各講義とグループワークを実施する。

### ●グループワーク

2050年は具体的にどのような状況になりそうなのか、対象地域を選定し、資料、データ、現地調査、ヒアリング調査等により客観的に分析し2050年までの状況をシミュレーションする。分析・シミュレーションを踏まえて、どのような方法で課題を克服していくべきか、どのような状態になれるかビジョンを提示する。

●講義曜日・時間：月曜日4限 14:40-16:10/講義場所：建築棟8F 南北スタジオ/講義形式：基本的に対面

回	日程	講義テーマ	講師
01	10月9日	オリエンテーション： 地域創造論/副専攻プログラムについて/履修者からの自己紹介	志村真紀（地域実践教育研究センター）
02	10月16日	概論1：ポートランドに学ぶ地球本位のこれからの都市づくり	山崎満広（客員教授）
03	10月23日	概論2：「ゼロからの『資本論』」を読んで (ディスカッション形式 ※課題図書)	志村真紀 池島祥文（国際社会科学研究院）
04	10月30日	ゲスト講義1：人生100年時代のつながりづくり	関ふ佐子（神奈川大学）
05	11月6日	ゲスト講義2： 途上国の都市を整備する—インフラとローカルコモンズ	三木はる香 (世界銀行 東京開発ラーニングセンター)
06	11月13日	グループワークに向けたワークショップ： 各学生の専門、研究内容に関する発表	志村真紀・矢吹剣一（・山崎満広）
07	11月20日	概論3：都市のプランニング・メソドロジー	矢吹剣一（都市イノベーション研究院）
08	11月27日	ゲスト講義3：これからの時代に向けて考えたいこと (ディスカッション形式)	岡部友彦（コトラボ合同会社）
09	12月4日	「グループ」結成	志村真紀・矢吹剣一
10	12月11日	グループワーク1	
11	12月18日	グループワーク2	
12	12月25日	グループワーク3（オンライン）	
13	1月15日	グループワーク4【中間発表会】（オンライン）	志村真紀・山崎満広・矢吹剣一
14	1月22日	グループワーク5	
15	1月29日	グループワーク6	
16	2月5日	最終発表会	ゲスト：高見沢実 志村真紀・山崎満広・矢吹剣一

\*2月15日（木）午後：地域連携シンポジウム 第2部にてグループワーク優秀チームの発表

※課題図書：授業日までに書籍を読んで、LMS上に感想を提出してください。

・ゼロからの「資本論」：齊藤幸平,NHK出版新書,2023（税込1030円）

（中央図書館に1冊収蔵。地域実践センターワーキング室に1冊有り。）